

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年02月19日

計画の名称	飯田市中心市街地地区の賑わいの再生													
計画の期間	令和03年度 ～ 令和03年度（1年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	飯田市													
計画の目標	大目標 中心市街地の「中心性・求心力・魅力」を活かし、人や物が集まる活気あるまちを目指して取り組む。													
	小目標①「美しき丘のまちの賑わいの風景づくり」 既存資源を美しい景観や空間を整備・活用することにより、まちなかの回遊促進を図る。													
	小目標②「丘のまちの居場所・交流空間づくり」 多世代交流拠点や健康福祉拠点等により、第3の居場所を創出し、多様な主体が連携し、産学官民連携の活動を行うことで、丘のまちの魅力の向上を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		1,075	A	1,075	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R1		R3
1	JR飯田駅前における歩行者通行量を2,474人/日(R1)から2,912人/日に増加			
	JR飯田駅前の土曜日の歩行者通行量	2474人/日	人/日	2912人/日
	※歩行者通行量の現況値は令和元年調査時点 ※目標値は認定基本計画の目標指数（R7：3,569人/日）と現況値の差を計画期間（5年）で除した値（2年分）の和			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	飯田市	間接	飯田駅前プ ラザ合同会 社	－	－	暮らし・にぎわい再生事 業（飯田市中心市街地地 区）	空きビルの再生(商業施設、 公民館、空地等 計画面積0. 4ha)	飯田市	■					1,075	1.20	－
											小計						1,075		
											合計						1,075		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
飯田市産業経済部商業観光課	当該事業完了後速やかに実施
	公表の方法
	飯田市公式ウェブサイト
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	JR飯田駅前における歩行者通行量の基準値（令和元年度）2,474人/日に対して、令和5年度の調査では3,286人/日という結果であった。目標を上回る効果が出ていることから、まちなかの回遊促進に寄与した事業と評価できる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	当該施設へは市公民館を始め行政機能を複合的に配置したことで多くの市民利用につながっており、公民館利用者数も移転時と比較し増加している。また、誰でも立ち寄れるフリースペースを設けたことで、中高校生を中心に若者の利用者も増加していることから、多世代交流拠点や第3の居場所の創出に寄与した事業と評価できる。
○特記事項（今後の方針等）	
「丘のまちの居場所・交流空間づくり」の拠点となる施設として利活用されるよう管理運営していく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	令和5年度歩行者通行量		
	最 終 目標値	2912人/日	
	最 終 実績値	3286人/日	

【位置図】 飯田市中心市街地活性化基本計画 計画区域約148.4ha

